SV Primer#6000

ＳＶプライマー＃６０００

特定化学物質障害予防規則非該当

サビ面への塗装も可能な、非常に高い防錆力を持つ１液形エポキシ樹脂系塗料

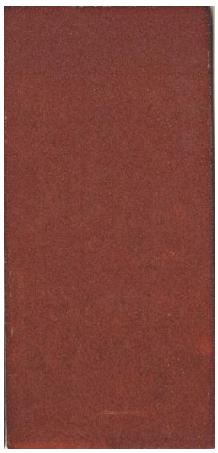
高い防錆力と良好な浸透力で、被塗物をサビ等による腐食から守ります！

（注）素地調整の省略を推奨するものではありません。本塗料の性能を最大限に発揮するためには、できる限り最良の素地調整をしてください。

新品鉄板(SPCC-SD)

SVﾌﾟﾗｲﾏｰ#6000	他社WAX系塩害対策ｺｰﾃｨﾝｸﾞ剤

サビ鋼板(弊社作成)

使用したｻﾋﾞ鋼板（自然環境下で作成）


SVﾌﾟﾗｲﾏｰ#6000	他社WAX系塩害対策ｺｰﾃｨﾝｸﾞ剤

ｻﾋﾞ面でも良好な防錆力を発揮

*当社試験結果（塩水噴霧試験 500時間）

各種製品をｻﾋﾞ鋼板上に塗装後、試験を実施。

（注）写真は促進試験での結果です。実環境の条件により異なる場合があります。

標準塗装仕様

工程	使用塗料	標準使用量 kg/m²	標準膜厚 dry	塗装間隔 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	推奨塗装方法
気象条件	気温 5℃以上、湿度 80%以下						
素地調整	【理想】 Sa2以上 ： 十分なブラスト 拡大鏡無しで、表面には目に見える油、ｸﾞﾘｰｽ、泥土および弱く付着したﾐﾙｽｹｰﾙ、さび、塗膜、異物が無く、残存した全ての汚れは固着したものである事						
	【必須】 St2（2～3種ケレン）以上 ： 十分な手工具および動力工具仕上げ 拡大鏡無しで表面には目に見える油、ｸﾞﾘｰｽ、泥土および弱く付着したﾐﾙｽｹｰﾙ、さび、塗膜、異物が無い事						
下塗り（ ）内はｻﾋﾞ面に塗装する場合	SVﾌﾟﾗｲﾏｰ#6000	0.19 (0.30)	35μm (60μm)	3時間以上	エコﾊﾟﾜｰスマートシンナー	10～20	エアスプレー
上塗り	マリントップクイック	0.17	35μm		ﾏﾘﾝﾄｯﾌﾟｸｲｯｸｼﾝﾅｰ	30～50	エアスプレー

＊上記数値は全て標準の値です。 塗装機や塗装方法や塗装条件、下地状況により多少の幅を生じる事があります。

カナヱ塗料株式会社 *http://www.kanaepaint.co.jp/*

試験成績表（社内試験による）

試験項目	試験内容	JIS規格番号	試験結果
光沢	60度鏡面光沢計	JIS K 5600-4-7	1.0以下
耐衝撃性	ﾃﾞｭﾎﾟﾝ式、1/2ｲﾝﾁ、500g	JIS K 5600-5-3	50cm合格
鉛筆引っかき値	三菱ユニー（破れ）	JIS K 5600-5-4	HB
付着性	1mmｺﾞﾊﾞﾝ目（残数/100）	JIS K 5600-5-6	100/100
耐温水性	40℃、ｲｵﾝ交換水没水	JIS K 5600-6-2	240時間
耐湿性	50℃、湿度95%以上	JIS K 5600-7-2	240時間
耐塩水噴霧性	5%塩水、35℃、相対湿度95～98%	JIS K 5600-7-1	480時間

概要

主用途	車両、建築機械、工作機械、農業機械、産業機械、 金属一般の下塗り用
樹脂系	1液形変性エポキシ樹脂系
荷姿	16kg、4kg
色	ブラック、ライトグレー
つや	つや消し（光沢値 1.0以下）
引火点 （℃）	25℃
希釈剤	（特化則対応ｼﾝﾅｰ） エコパワースマートシンナー
劇物表示	非該当
消防法区分	第4類第2石油類
有機溶剤中毒予防規則	第2種有機溶剤
特定化学物質障害予防規則	非該当
適合上塗り塗料	アルキド樹脂系、アクリル樹脂系、ウレタン樹脂系、塩化ゴム樹脂系、アクリルラッカー系　（注）ﾋﾞﾆﾙ系の塗装は避けて下さい。

注意事項

①塗装時0℃以下、塗装後0℃以下の気温が連続することが予想される場合、または塗装時の湿度80%以上の場合は施工しないでください。
②顔料が沈降しやすいので、使用前に十分に撹拌してご使用ください。
③必要な保護具（帽子、保護メガネ、マスク、手袋など）を着用し身体に付着しないようにしてください。
④浮きサビやルーズな黒皮、旧塗膜面の発サビや塗膜の浮きなどは十分に除去してください。
⑤自然発火や引火の危険性がありますので、塗料の付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで必ず水に浸けるか、密栓のできる容器の中に保管してください。
⑥過剰に希釈をすると薄膜となり、本来の塗膜性能が発現しないおそれがありますので、規定の希釈量を守ってください。
⑦初期サビの原因となりますので、規定の膜厚を確保してください。
⑧指定のシンナー以外を使用した場合、不具合を生じる場合があります。
⑩常時浸水される部分への使用は避けてください。
⑪塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にてご使用ください。
⑫防爆型の設備（換気装置、照明機器など）を使用してください。
⑬開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
⑭塗料漏洩の原因になりますので、保管、運搬時に容器を横倒しにしないでください。
⑮本来の目的以外には使用しないでください。

■製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート